

国土地理院では、本年6月19日から「地理院地図」において、全国各地に建立されている自然災害伝承碑に関する情報（位置や伝承内容など）の公開を開始します。

情報リスト

Q 例：写真/標高/災害

OFF 表示範囲に絞込み

トップ

- ベースマップ
- 空中写真・衛星画像
- 起伏を示した地図
- 土地の特徴を示した地図
- 地図の更新情報や提供地域等
- 基準点・測地観測
- 地震、台風・豪雨等、火山
- 指定緊急避難場所
- 自然災害伝承碑**
- 南極の地理情報
- 地理
- 他機関の情報
- ベクトルタイル提供実験

アイコンをクリックすると碑名や災害名が表示

さらに写真をクリックすると伝承内容や拡大写真が表示

**水害碑**

災害名：洪水・土石流  
(1907年7月15日)



詳細説明は画像をクリック

水害碑

概要	
碑名	水害碑
災害名	洪水・土石流 (1907年7月15日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	1910
所在地	広島県安芸郡坂町小屋浦四丁目
伝承内容	明治40年(1907)7月15日、数日未降り続いた豪雨により天地川や総瀬川で土石流が発生した。この未曾有の大災害により、小屋浦地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。

ID:34309-002





※自然災害伝承碑を示すアイコン